

楽しもうインフィニティ～ミラージュ

黒部市美術館・魚津埋没林博物館《infinity～mirage》実行委員会 尺戸智佳子・佐藤真樹

● どんな工作・実験なの？

みなさん、インフィニティ～ミラージュをもうみましたか？インフィニティ～ミラージュは、作家の山下麻衣+小林直人の作品です。黒部市生地の堤防に大きな「m」の看板をはりつけました。作家さんは、蜃気楼が見えるときに、「m」が下にひっくり返ることで「∞（おげん）」をえがこうとしました。そして、約8km離れた魚津の海辺から望遠カメラで撮影し、YouTubeで24時間、ライブ配信しています（右のQRコードより）。

オリジナルのペーパー双眼鏡を作って、海辺に∞を見に行こう。



● 用意するもの

- ・ペーパー双眼鏡キット（アクリルレンズ・倍率3倍）
- ・タブレット端末など（Youtubeでインフィニティ～ミラージュを見てみよう）

● 工作・実験のしかたとコツ

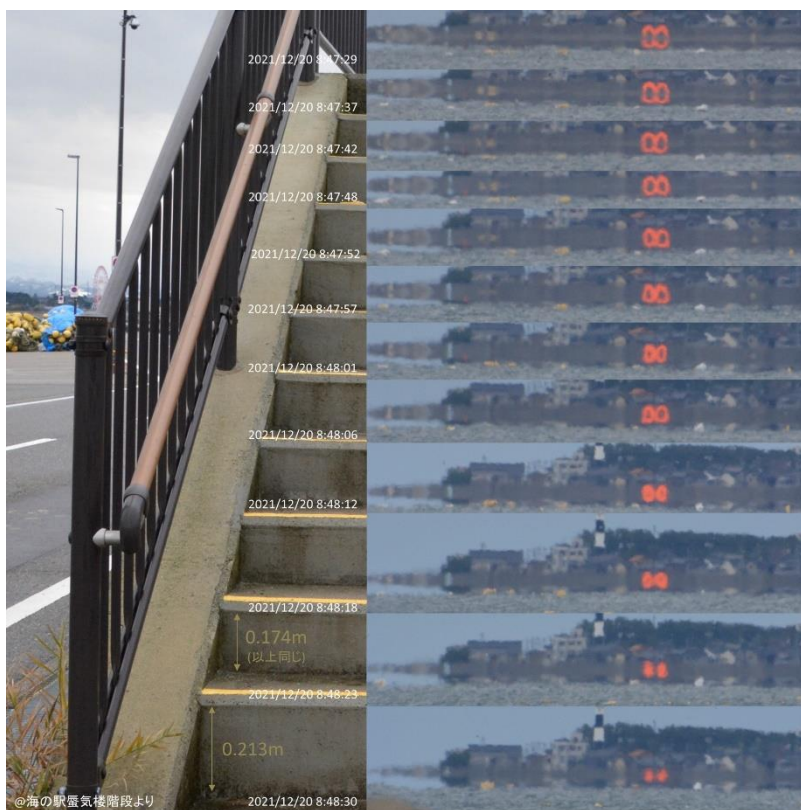
- ・ゆっくり丁寧にペーパー双眼鏡を組み立てよう。
- ・海辺に出かけてインフィニティ～ミラージュを探してみよう。
- ・見つけられたら、スケッチしてみよう。（見えた場所・日時も書いておこう）
- ・Youtubeでさかのぼって見返してみよう。

● 気をつけよう

インフィニティ～ミラージュは見る目線の高さで大きく見え方が変わります。

海辺のある場所で∞（おげん）に見えなくても、高さの高いところや低いところからもう一度見てみよう。

見る高さや場所でさまざまに変わるインフィニティ～ミラージュを双眼鏡糧に楽しんでみよう。



©海の駅蜃気楼階段より

魚津港の階段からみた「m」の低位蜃気楼(2021年12月20日)

● もっとくわしく知るために

「しんきろうキッズ」のページにも紹介しているよ

(<https://www.city.uozu.toyama.jp/nekkolnd/shinkiro/kids.html>)